

# 児童・青少年演劇ジャーナル

# げき 10

1月未刊!

編集・発行=児童・青少年演劇ジャーナル(げき)編集委員会

定価●1200円+税

編集代表=ふじたあさや

## 子どもと演劇のよりよい出会いを求めて——

- 演劇鑑賞は子どもの何を育てるのか?—演劇鑑賞の意義をさまざまな角度から追及。児童・青少年演劇の歴史・広がりを検証。
- いま、どんな劇を子どもに見せれば良いのか?—児童・青少年演劇評、新作紹介、劇団紹介、子どものための劇戯曲掲載。
- 地域の演劇・文化活動をどう育てたらいいのだろう?—地域の話、先進的な試み、海外の事例などを紹介。
- 児童・青少年演劇演劇創造の課題は何だろう?—演劇創造のための誌上ワークショップや提言を掲載。

【巻頭言】すべて2011年から始まったと言われるだろう～日本児童青少年演劇の新しい世紀～……………ふじたあさや

## 【特集】東日本大震災・原発事故と児童青少年演劇

- 届けよう!子どもたちに笑顔と元気を!—東日本大震災子ども舞台芸術支援対策室の活動……………長谷詔夫
- 子ども劇場・おやこ劇場関連の支援活動について—子どもとアートプロジェクト“明日”……………柳弘紀
- 【福島から】「こんな時に」と「こんな時だからこそ」震災・福島……………木島理恵子(劇団風の子東北)
- 【被災地での上演やワークショップを通して】……………永野むつみ/中西明/多田純也/末永克行

## 【報告】第17回アシテジ世界大会

- 大きな変革の時期を迎えたアシテジ……………宮本健太郎
- 舞台芸術フェスティバル観劇記……………田辺慶一/林陽一/富田めぐみ

## 【劇評】児童・青少年演劇の舞台から

関明/山崎和男/岩崎明/安住恭子/  
神澤和明/七字英輔/蒔田敏雄

## 【連載座談会】「演劇教科書」編集会議録を読む

……………秋葉昌樹/田端健人/高尾隆

## 【連載】表現教育の現場から(9) 子どもとドラマツルギー

—「児童青少年演劇のための劇作講座」の試み=西田豊子  
[インタビュー]自分史としての児童・青少年演劇9  
疎開世代の自画像として……………  
さねとうあきらさんに聞く

【戯曲】  
**ミュージカル  
はだしのゲン**  
中沢啓治原作  
漫画『はだしのゲン』汐文社刊より  
鹿目由紀

- 【エッセイ】2011の児童青少年演劇
- 「子ども文化地域コーディネーター協会」の発足=森本真也子
- 2011東アジア児童青少年舞台芸術フェスティバル=大野幸則
- キジムナーフェスタ・2011=新妻嗣二
- 喜多方発21世紀シアター=澤田修
- 夏休み児童演劇フェスティバル=大野幸則
- いいだ人形劇フェスタ2011に参加して=奥河昇
- 「子どもと舞台芸術」出会いのフォーラム2011=岩崎明
- 2011子どもえんげき祭inぎしわだの批評対話=植田智子
- TACT/FEST国際児童青少年芸術フェスティバル=中立公平

定期購読をお願いします!  
定期購読の方には毎月郵送いたします。  
1部あたり1000円(税・送料込)

- 本誌「げき」の刊行には、社団法人日本児童演劇協会、日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)、全国児童・青少年演劇協議会(全児演)の三団体が協同して取り組んでいます。
- 定期購読は下記の児演協事務局へお申し込みください。

●定期購読お申し込み・お問い合わせは——

**児演協事務局** 〒160-0023新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎2-4 TEL03-5909-3064 FAX03-5909-3065

発売・晩成書房 〒101-0064東京都千代田区猿楽町1-4-4 TEL03-3293-8348 FAX03-3293-8349 mail@bansei.co.jp

注文書

●お申込み先は  
**児演協事務局**  
FAX03-5909-3065

ご注文	●お申込先 <b>児演協事務局</b> 〒160-0023 新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2-4 FAX03-5909-3065	
冊	<b>児童・青少年演劇ジャーナル げき 10</b> 2012年1月未刊 ●定価1200円+税	
お名前・劇団名	住所 □□□□-□□□□	
劇団の場合 ご担当者名		
電話 ( )	メール @	
定期購読について	いづれかに○印をお願いします。 定期購読・( )する ・( )しない	